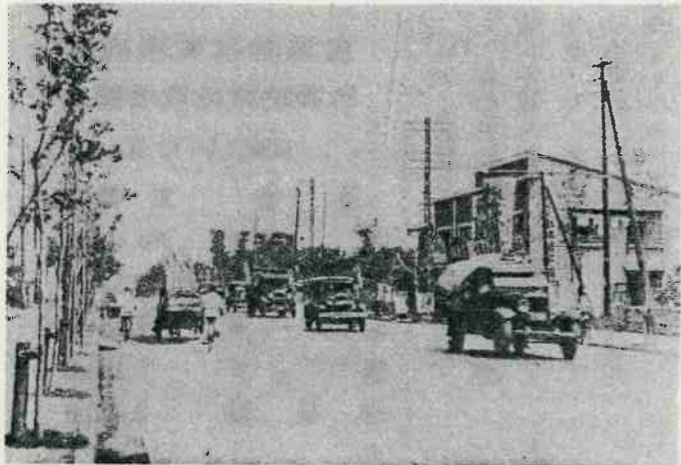


六郷特別出張所管内	
人口	男32,396名
	女30,067名
	計62,463名
世帯数	26,331世帯
平成6年5月1日現在	

六郷わがまち

発行 わがまち大田
 六郷地区推進委員会
 編集 「六郷わがまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144 大田区仲六郷2-42-2
 電話 03(3732)4885(代)



昔の東海道が拡張され、京浜国道として開通したのは昭和2年(1927)。松並木にかわってスズカケの街路樹が植えられ側溝ができた。写真は昭和7年頃の雑色付近。



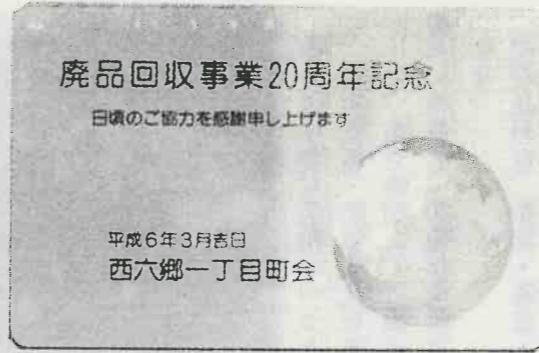
現在、車の交通量はほぼ飽和状態に達し、六郷橋を通過する車は日に約4万4000台。上りの車の方が下りより1万台も多く、雑色付近は共同溝工事のため渋滞がひどい。

目で見るいまむかし

(4) — 京浜国道

△解説・平野順治▽

レホンカードを配りました。活動を率先推進しているのは高田浩三町会長。「その熱意には頭が下がります」と評判です。約10か所に集積所を設け、毎月第3日曜日に40名ほどの有志が地区を回ってマイクで呼びかけ、半日がかりでリヤカーや軽トラックで回収しています。アルミ缶350kg、新聞紙5



全世帯に配られたテレホンカード

2月7日、社団法人食品環境美化協会から空き缶プレス機を寄贈された六郷生活学校(教育委員会所属)は、身近な暮らしの問題をとりあげ、学習や実践活動をしている主婦の団体で、委員長は西六郷二丁目37-3の矢野瑞耶さん。アルミ缶の回収を始めたのは昭和55年。毎月2の日に、会員が集めた缶を持ち寄ります(アルミ缶は有価物でごみではないという意識を徹底させるため、原則として持参した人に2個1円を渡している)。今では月1t以上にもなるため、足でふみつぶすことも、保管場所も限界となり、区からは自動圧縮機を、保管には東京電力の敷地を借りているので、今回のプレゼントは大きな喜びです。



山と積まれたアルミ缶(左端が矢野さん)

六郷生活学校の運動の中心に注目したいのは、アルミ缶のステイオンタブ(もぎとり式ではなく、開けてもタブが缶に付いているタイプ)を、メーカーに採用させたことです。これに、次のようなアメリカでの空き缶リサイクル運動を、矢野さんが

六郷生活学校のアルミ缶回収

大田区では一番熱心に行っている方だ、と自負する西六郷一丁目町会はことし3月、アルミ缶リサイクル協会から表彰されたのを機に、廃品回収事業20周年を記念し、全世帯に御礼のテ

レホンカードを配りました。活動を率先推進しているのは高田浩三町会長。「その熱意には頭が下がります」と評判です。約10か所に集積所を設け、毎月第3日曜日に40名ほどの有志が地区を回ってマイクで呼びかけ、半日がかりでリヤカーや軽トラックで回収しています。アルミ缶350kg、新聞紙5

の近くに区から貸与された保管用の大型倉庫があります。今まで積み立てた収益金は、前記のテレホンカードや軽トラックの購入、普賢岳噴火・北海道南西沖地震の義援金、町会親睦旅行のバス代金など、有効に使われています。

最も盛んな西六郷一丁目町会

現代の使い捨て社会を見直し、ごみの減量や資源の有効利用のため、大田区では今、10世帯以上の活動グループでリサイクル推進担当課に登録した団体には、回収実績1kgにつき6円の報奨金を支給し、必要な用具の貸し出しを行うなど、さまざまな推進事業に力を入れています。六郷地区でも50の登録団体が活動しています。その概況を2回に分けてレポートします。

推進しよう！リサイクル活動

廃品にも生き返る未来がある

見学してきたのが、きっかけで見た。

(1)リサイクルの方法をみんなで作る、その是非について住民投票を行っている。(2)空き缶1個を5セントで引き取る。

(3)「空き缶はリサイクルへ」と缶に印刷してある(日本では空き缶はくずかごへと書いてある)。(4)全部の缶がステイオンタブ式になっている。

帰国して矢野さんが調査したところ、日本では輸出用だけがステイオンタブで、国内用はすべてもぎとり式でした。ちょうどそのころ、北海道で丹頂鶴が死に、胃の中からもぎとり式のタブがたくさん出てきました。

そこで昭和59・61・63年と、ねばり強くメーカー側と対話集会を続け、平成元年に大手メーカー6社が全部ステイオンタブを採用することになったのです。日本の自動販売機の普及率は世界一ですから、すばらしい改良運動だったといわなければなりません。

平成3年には内閣官房長官より表彰され、今では全国各地から見学者が訪れています。六郷生活学校では「空き缶は必ず洗って出してください」と呼びかけています。夏場など缶の中身のおいが大変で、それを水洗いする手間と水道料金が馬鹿にならない負担になっているからです。

敬老の日の祝い

品購入の助成に

西六郷二丁目町会

敬老の日のお祝い品購入の助成を目的に、昭和63年から婦人部員と町会役員が2班(白山神社境内と諏訪神社境内)に分かれ、回収に努めています。

資源回収実績内訳 六郷特別出張所管内

(1993.1.1~12.31)

品目	重量 kg
新聞誌	703,405.0
雑誌	244,391.0
ボール紙	118,184.0
紙パック	191.0
他紙類	2,005.0
布	10,287.1
アルミ缶	28,145.1
スチール缶	2,815.7
リターナブル瓶	4,299.0
カレット瓶	468.0
合計	1,114,190.9 kg

登録団体 50団体中/実施団体 47団体/実施延べ回数 519回

少年野球部が頑張っています!

仲六郷三丁目町会

しかし役員の高齢化が進み、また業者が日曜休業のため、回収日を第3水曜日に変えたこともあって、活動参加者が減っています。それでも回収量は平均2トトラック3台分。作業中、骨折などの事故が生じたときの対応をどうするか、苦慮しているという事です。

町会の主要な活動の一つとして

仲六郷四丁目町会



資源の愛護と環境の美化をモットーに

町会の主要な活動の一つとして、資源愛護・環境美化をモットーに、毎月原則として第3日曜日に実施し、20数年来続けています。

回収品目は、新聞・雑誌・ポロなどで、各戸別に行い、1回の回収量は約4t。この作業には、責任者の中島満雄さんをはじめ、町会の役員を中心とした約15名ほどの人が当たっています。

六郷文化センター 夏休み子ども教室 植物観察と 標本づくり

講師=大田自然を守る会・簡典久

7月26日 六郷土手で観察と採集
7月27日 多摩川台公園で観察
8月3日 センターで標本づくり

募集=小学生と保護者・10組20名
教材費=350円

申し込み=7月19日午後2時から15分の間に、六郷文化センターへ行って申し込む。定員を超したときは抽選。TEL 3738-4155

六郷の草たち ⑤

「わぁ、きれい!いい香りがする」と、自然観察会の参加者から歓声があがったのは、六郷のJR鉄橋の下に咲くテリハノイバラに出会った時です。この花は7月ごろ、3



テリハノイバラ (バラ科)

cmほどの真っ白な花を、地を這う枝に咲かせ、光沢のある緑の葉をもつ落葉低木です。

帰化植物が都市の野草の80%をしめるといわれる近年、『万葉集』に詠まれているノイバラと共に、多摩川べりの在来の野草を大切に守ってゆきたいものです。

(古屋のり子)

老人クラブから 登録グループへ

西六郷高畑町会

老人クラブ(高畑明老会)が20数年来、ごみの減量・資源回収を意図した運動を展開、それなりの成果を挙げてきましたが、平成4年からは町内の登録グループが活動を推進しています。

お知らせ

- 新町会長紹介—次の方々が新しく町会長に改選されました。
南六郷二丁目町会長 小泉澄雄氏
南六郷三丁目町会長 小泉 隆氏
東六郷一丁目町会長 中島寿美氏
東六郷二丁目町会長 渡辺正夫氏
宮本町会長 高橋好行氏
- 六郷神社の祭礼中止—6月初旬のお祭りは、社務所新築工事などのため中止されました。
- 沼津御用邸記念公園の大とんび風修復—大正5年(1916)昭和天皇立太子のお祝いに献上した六郷の大とんび風(翼長7.2m・胴丈2.8m)の修復を、沼津市から依頼された上田格一氏ら5名が、3月12日出張、要望に応えました。
- 第43回大田区子どもカーデナーティー—4月24日好天に恵まれ、区内一の広い六郷会場には、5270名が参加、盛況でした。
- 白山神社の社務所完成—5月15日、竣工式挙行。
- 「六郷わがまち」第5号補足—高畑小学校は昭和16年に国民学校として開校、同21年廃校。小学校としては昭和28年7月5日開校。同様に雲雲小学校は、昭和11年開校、同21年廃校、小学校としては昭和31年1月9日開校しました。
- 半世紀ぶりの卒業証書—空襲のため卒業式が流れた出雲国民学校8期生72名が4月16日に、半世紀ぶりの卒業式を挙げました。

厚生部はつねに リサイクル態勢

仲六郷一丁目町会

毎年9月、町会の役員を中心に、敬老会のお祝いの費用に当てるため、新聞・雑誌・ポロ・びん・段ボールなどを回収。なお厚生部はつねにリサイク

1年半前から第 2日曜日に回収

仲六郷二丁目町会

ごみの減量と町の美化を目的に、1年半ほど前から毎月第2日曜日に、役員たちが新聞・雑誌・アルミ缶などを回収、地元

東六郷一丁目町会長幡野義一氏が5月3日に逝去されました。67歳。心からご冥福を祈ります。